

## 人体計測法

3年 後期 1 選択 2 単位 演習

山本 高美

**【テーマ】** 被服製作を行う上で必須である、人体計測を行う。計測機器は、3Dボディラインスキャナを用いる。得られた3Dボディデータの解析方法を説明し、各人の体型に合わせた原型を作成する。

**【授業概要】** 1D、3Dの人体計測を行い、開発したアプリケーションで3D人体データの分析を行う。抽出されたデータをアパレルCADに読み込みさらに分析を行い、開発した自動作図機能にてのスカート原型を作成する。実寸の工業用パターンを出力し、工業用の縫製方法により縫製を行う。試着し、体型へのフィット性について考察する。各種の体型の特徴についても解説する。

**【到達目標】** 各自の3Dボディデータにより体型観察を行い、それぞれのスカートパターンを作成する。さらに、量産の方法による縫製方法が習得できる。

### 【育つ力】

B 基礎学力と達意の文章を書く力

D 課題を解決する力

E 社会に役立つ専門力

### 【授業計画】

#### 1回 人体計測機器の種類、計測方法(1)

人体計測の機器の種類とその計測方法について学ぶ

#### 2回 人体計測機器の種類、計測方法(2)

1次元計測(メジャー)を行う。3D計測での注意点を解説する

#### 3回 人体計測(1)

グループ1-1、3Dボディラインスキャナによる計測

#### 4回 人体計測(2)

グループ1-2、3Dボディラインスキャナによる計測

#### 5回 人体計測(3)

グループ2-1、3Dボディラインスキャナによる計測

#### 6回 人体計測(4)

グループ2-2:3Dボディラインスキャナによる計測

#### 7回 3Dボディデータの分析(1)

開発した3Dボディデータ分析アプリケーションによる分析

#### 8回 3Dボディデータの分析(2)

3Dボディデータより、特徴のある下半身5断面を抽出する

#### 9回 3Dボディデータの分析(3)

3Dボディデータより、正中矢状断面を抽出する

#### 10回 3Dボディデータの計測(1)

下半身5断面の実寸値の計測を行う

#### 11回 3Dボディデータの計測(2)

正中矢状断面より、高さデータを計測する

#### 12回 3Dボディデータの計測(3)

各種データから計測表を作成する

#### 13回 3Dボディデータの解析

水平断面重合図より、俯瞰図を作成する

#### 14回 スカート原型作成のためのデータ修正

作図に使用するデータの抽出と修正を行う

#### 15回 スカート原型を作成する

開発したスカート原型作製プラグインを使用してパターンを作成

**【教科書名】** 文化服装学院編:文化ファッション大系①服飾造形の基礎、②スカート・パンツ、文化教科書出版部、配布資料

**【参考図書】** 山本政:服飾造形のための基礎研究、朝日出版サービス、山本高美:CAD Pattern Making 1、2、家政教育社

**【評価方法】** レポート、製作物により評価を行う

**【履修について】** CADパターンメイキング1を履修したもの

**【事前・事後学習等】** 本講座で作成したスカート原型の応用方法について指導する

**【備考】** 履修者数は48名(PC台数48)程度とする。配布資料は、manaba folioに掲載する

## 人体計測法

3年 後期 2 選択 2 単位 演習

山本 高美

**【テーマ】** 被服製作を行う上で必須である、人体計測を行う。計測機器は、3Dボディラインスキャナを用いる。得られた3Dボディデータの解析方法を説明し、各人の体型に合わせた原型を作成する。

**【授業概要】** 1D、3Dの人体計測を行い、開発したアプリケーションで3D人体データの分析を行う。抽出されたデータをアパレルCADに読み込みさらに分析を行い、開発した自動作図機能にてのスカート原型を作成する。実寸の工業用パターンを出力し、工業用の縫製方法により縫製を行う。試着し、体型へのフィット性について考察する。各種の体型の特徴についても解説する。

**【到達目標】** 各自の3Dボディデータにより体型観察を行い、それぞれのスカートパターンを作成する。さらに、量産の方法による縫製方法が習得できる。

### 【育つ力】

B 基礎学力と達意の文章を書く力

D 課題を解決する力

E 社会に役立つ専門力

### 【授業計画】

#### 1回 工業用パターンの作成(1)

スカート原型を用いて、デザインパターンを作成する

#### 2回 工業用パターンの作成(2)

パターンのパーツ化、パーツ情報の設定を行う

#### 3回 工業用パターンの作成(3)

縫い代、ノッチ、ドリル位置をつけパターンを完成させる

#### 4回 量産の方法による裁断(1)

各自の布にあわせてマーキングを行う

#### 5回 量産の方法による裁断(2)

裁断し、縫製のためのノッチを入れる

#### 6回 量産の方法による縫製(1)

ステッチ定規を用いて、脇線、後ろ中心線などを縫製する

#### 7回 量産の方法による縫製(2)

ドリル位置とノッチから、ダーツの縫製を行う

#### 8回 量産の方法による縫製(3)

裾を上げ、ベルトを付ける。デザイン的な試着補正を行う

#### 9回 量産の方法による縫製(4)

接着芯を貼り、ロックミシンにより縫い代始末を行う

#### 10回 量産の方法による縫製(5)

ベンツ、またはスリット等の作成

#### 11回 量産の方法による縫製(6)

裏布の裁断

#### 12回 量産の方法による縫製(7)

ファスナー付け

#### 13回 量産の方法による縫製(8)

裾上げミシンにより、裾の始末を行う

#### 14回 量産の方法による縫製(9)

表裏合わせ、ベルト付け、を行い、スカートを完成させる

#### 15回 総括

スカートを試着し検討を加える。本授業のレポートを作成する

**【教科書名】** 文化服装学院編：文化ファッション大系①服飾造形の基礎、②スカート・パンツ、文化教科書出版部、配布資料

**【参考図書】** 山本政：服飾造形のための基礎研究、朝日出版サービス、山本高美：CAD Pattern Making 1、2家政教育社

**【評価方法】** レポート、製作物により評価を行う

**【履修について】** CAD パターンメイキング1を履修したもの

**【事前・事後学習等】** 本講座で作成したスカート原型の応用方法について指導する

**【備考】** 履修者数は48名(PC台数48)程度とする。配布資料は、manaba folioに掲載する